

中海出張所便り 第5号 (7月26日版)

米子市大崎で44年ぶりの中海海開き開催

- ・開催日 7月21日(水)
- ・主催 : NPO法人「未来守(さきも)リネットワーク」
- ・参加者 : 鳥取・島根両県の関係者、米子南高校、境港市内の小学校 計約60人

国土交通省が、水環境整備事業の一環で整備した米子市大崎の浅場造成箇所で、約40年前から途絶えている中海での海水浴を復活させ、泳げるほどにきれいになった中海にもっと親しんでもらうイベントが開催されました。

出雲河川事務所は参加した子どもたちを対象に、中海に入って取った砂の中からアサリを採取してどのくらいアサリがいるのか調査をしたり、水質の調査を行いました。

【楽しそうに泳いでます！】



【砂からアサリを採取】



中海出張所便り 第5号 (7月26日版)

ところで知ってますか？今回利用した場所の浅場造成の目的？？

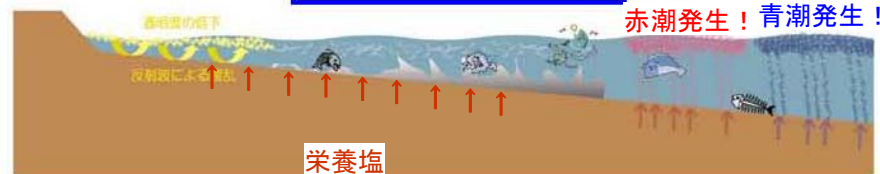
■浅場造成の目的とは、

中海の底には大量の汚れた泥が存在し、そこから栄養塩が大量に出ていて生物が生存しにくい環境となっています。

浅場造成とは、原因である栄養塩溶出を押さえるために底泥を覆うように砂をのせ、栄養塩の溶出を押さえる働きと、水深を浅くすることにより日光が当たり、藻場や底性生物の再生を期待し自然浄化機能を回復することを目的としています。

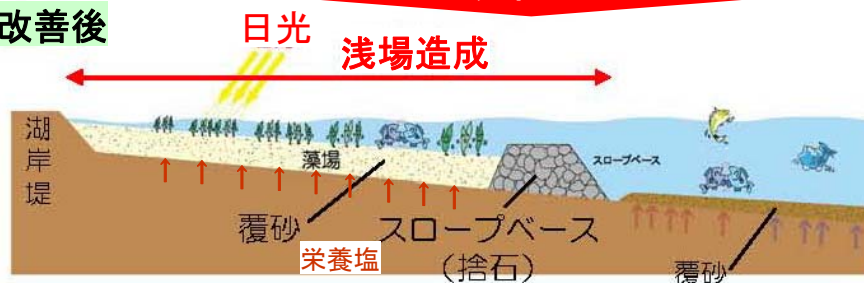
現 況

沿岸域での浅場造成



改善後

改善後



～担当者からのひとこと～

中海沿岸で整備を進めている浅場造成の効果が徐々に現れてきています。今後も更に川に親しめるような整備を進めていきます！